

神奈川県は花粉発生源対策に取り組んでいます。



神奈川県の森林面積の約4割はスギ・ヒノキの人工林です。スギ・ヒノキ林は建築用などの木材を供給するとともに、国土の保全、水源のかん養、地球温暖化防止などの多様な機能を発揮する環境資源ですが、花粉症の原因にもなることから、本県では次の取り組みを進めています。

○花粉症対策苗木の生産

○スギ・ヒノキ林の混交林化と植え替え

道に近く林業に適した土地では、花粉症対策苗木による植え替えを推進し、それ以外の土地では、間伐を中心とした伐採による混交林化を進めていきます。

植え替えにあたっては、厳冬期と酷暑期以外はいつでも植栽可能なコンテナ苗の使用、伐採と造林の一貫作業システムの導入など、造林コストの低減を図っていきます。

県内生産のスギ・ヒノキ苗木はすべて花粉症対策品種です。

### 無花粉スギ

種子とさし木から生産しています。種子(実生苗)はメンデルの法則により無花粉の性質は50%の確率で遺伝するので、出荷前に検定を行って無花粉であることを確認しています。

無花粉スギは成長に優れており、条件のよい場所では3~4年で下刈りを完了できるので造林費用の縮減になります。



### 無花粉ヒノキ「丹沢 森のミライ」

神奈川県が全国で初めて発見した無花粉ヒノキです。令和3年(2021年)春に林業用種苗木として初めて出荷しました。

現在は生産量を増やすための取り組みを行っています。

※詳しい性質や特徴は別添の「解説編」リーフレットをご覧ください。

秦野市森林組合  
長谷川理恵さん



~「丹沢 森のミライ」は登録品種です~

登録番号 : 第28988号

登録年月日 : 2022年3月15日 (存続期間 30年)

品種名称 : 神奈川無花粉ヒ1号

### 少花粉スギ・ヒノキ

従来の品種より花粉量が極めて少ない品種です。

#### ■問合せ先

(全般) 神奈川県環境農政局緑政部 森林再生課林業振興グループ 電話(045)210-4342

(苗木の購入) 神奈川県山林種苗協同組合(神奈川県森林組合連合会内) 電話(0463)73-5295

(品種開発) 神奈川県自然環境保全センター 研究企画部研究連携課 電話(046)248-0321

制作: 神奈川県・神奈川県森林協会 協力: 秦野市森林組合 撮影: (有)林写真商会  
令和4年2月発行  
令和4年5月改訂

初めまして  
「丹沢 森のミライ」  
です!



神奈川県が全国で初めて

発見した  
無花粉ヒノキ



私たち一人ひとりの行動が、  
未来につながる。  
SDGs 未来都市 神奈川県

2021ミス日本  
「みどりの女神」小林 優希

令和3年7月  
「丹沢 森のミライ」初植栽!



# 花粉に悩まない 清々しい「森のミライ」を目指して

スギ・ヒノキは建築材として重用され、昔から植林されてきました。  
花粉症が問題となっている現代社会でも受け入れられる林業であるために  
神奈川県は無花粉品種の開発に取り組みました。  
伐って・使って・植え替える森林の循環は、持続可能な社会の実現につながります。

平成24年に県内のヒノキ林約4000本を調査して、花粉が出ないヒノキを1本だけ発見しました。その後2年かけて花粉が出ないことを確認し、生産方法を確立して今日に至ります。

「丹沢 森のミライ」は今日初めて山に植栽されるんですね!

風に揺さぶられて根が土から浮かないように、地面をしっかりと踏み固めます! (苗木を踏んでいる訳ではありませんよ!)



従来は苗木の根の大きさに合わせて、鍬(くわ)で穴を掘っていましたが、コンテナ苗は根の形が一定なので、専用器具で簡単に植穴を開けることができます。

土に押し込むだけなので簡単ですね!



裸苗(従来)      コンテナ苗



神奈川県  
自然環境保全センター  
齋藤央嗣主任研究員

※齋藤主任研究員は「無花粉ヒノキの発見及びスギ・ヒノキ花粉症対策品種の実用化」により、2021年度第9回森林遺伝子育種学会賞を受賞しました。



実際に植えてみて、こうした地道な作業で森林を育てているということを実感しました!

みんなに使ってもらえるように大きく立派に成長してね!



かながわ県産木材を証明するマークです!



森づくりはいろいろな人たちの協力で成り立っているんですね。

苗木を生産した 秦野市森林組合の 鈴木研太さん